

# 索引

## ア行の部

- 應 問 四六、七一
- 天の川(銀河を見よ) 四六、七一
- 亞刺比亞の天文學 六四
- 伊能忠敬翁の彗星に關する書翰 一七
- 隕 星 一七
- 隕星の起原 三七
- ウイルソン天文臺 二八
- 宇 宙 二八
- 宇宙有限説に就いて 七三
- 宇宙構造に關する最近研究 七三、一一二、一二四、一三八
- 歐洲中世紀の天文學 一二七
- ヅルカン星 七〇
- 假想惑星ヅルカンの搜索 七〇
- カ行の部 七〇
- 希臘の天文學 一六、五三
- 極光の話 八八、九九、一一三
- 銀 河 九
- 銀河と重星軌道との關係 九
- 螺旋狀星雲と銀河との關係 九
- 金 星 八三
- 生物の住居としての金星 八三
- 火 星 二〇
- 生物の住家としての火星 二〇
- 火星の衝に就きて 六一
- 火星の昨今 八二
- 火星のスペクトル 一七

## 觀 測

- 掩蔽觀測 二二、三三、三五、四七、一一九
- 四月流星の觀測 一四五
- 日蝕觀測 四二
- 日蝕觀測表 四四、一三一
- 月蝕の觀測 四七
- 慶州瞻星臺の記 一一九
- 經度測量要旨 一一一
- 月 蝕 二五
- 十一月二十七日の月蝕皆既 九三
- 月蝕の觀測 一一九
- 恒 星 一三二
- 空間に於ける恒星の分布 九三
- 北部天球に於ける最近恒星 九五
- 恒星時 六
- 簡単に恒星時を求める法 六
- こよみ(曆を見よ) 六
- サ行の部 六
- 四季の區分法と温度との關係 八五
- 衝 六一
- 火星の衝に就きて 六一
- 彗 星 九
- 千五百五十六年の彗星 九
- 彗星の發見 五九
- ハリー彗星(ハリー彗星を見よ) 一一七
- 伊能忠敬翁の彗星に關する書翰 一一七
- 新彗星 一二九、一三三
- 一大新彗星 一三〇
- 千九百十年の彗星 一四四
- スペクトル 一四四
- 太陽斑點のスペクトル(ヘール教授の最近研究) 一

天文月報

(第二卷索引)

- 同 「ゼーマン効果に就き」 一三
- 火星のスペクトル 一二七
- ゼーマン効果に就て 一三
- 星 雲 九
- 螺旋狀星雲と銀河との關係 一三一
- 星 座 名 一三一
- 星 團 一三一
- 球狀星團に關するペライン氏の研究 七〇
- 赤道儀の話 五一

## 夕行の部

- 太 陽 一
- 太陽の研究(ヘール教授の最近研究) 一
- 太陽斑點(太陽斑點を見よ) 三四
- 太陽面上粒子の運動 三四
- 太陽系 四三
- シイ氏の新説 四三
- 太陽斑點 四三
- 斑點の分光的研究(ヘール教授の最近研究) 一
- 同 (ゼーマン効果に就き) 一三
- 同 六九
- 太陽の斑點に於ける放射運動 六九
- 重 星 九
- 銀河と重星軌道との關係 九
- 地球の形狀及大きさ 一〇七
- 月 八
- 月の平均運動の揺れ 八
- 月蝕(月蝕を見よ) 八
- テバット氏 四
- 天體寫眞萬國會議 五八
- 天 圖 一
- 四月の天(恒星時十時の天象) 一二
- 五月の天(恒星時十二時の天象) 二四

- 六月の天(恒星時十四時の天象) 三六
- 七月の天(恒星時十六時の天象) 四八
- 八月の天(恒星時十八時の天象) 六〇
- 九月の天(恒星時二十時の天象) 七二
- 十月の天(恒星時二十二時の天象) 八四
- 十一月の天(恒星時〇時の天象) 九六
- 十二月の天(恒星時二時の天象) 一〇八
- 一月の天(恒星時四時の天象) 一二〇
- 二月の天(恒星時六時の天象) 一三二
- 三月の天(恒星時八時の天象) 一四六
- 天文及其他の精密機械製造の急務 一三五
- 天文學 一三五
- 希臘の天文學 一六、五三
- 亞刺比亞の天文學 六四
- 歐洲中世紀の天文學 一二七
- 天文學雜誌(机上の塵) 一四一
- 天文學會 一四一
- 日本天文學會第二定會記事 二二
- 英國王立天文學會 五七
- 日本天文學會第三定會 一一八
- 天文學者 一一八
- テバット氏 四
- 寺尾教授在職滿二十五年祝賀會 三四、四四
- コルドヴァ天文臺長 五七
- 噫シモン、ニユーコム氏 五八
- ニユーコム教授と事業 八二
- トレプトー天文臺及臺長アルヘンゴルド氏 一三六
- 天文學談話會記事 一〇、二三、四七 九五、一〇七、一一八、一三一、一四五
- 天文奇聞 六八
- 天文書 六八
- 東京天文臺年報 三五
- 歡迎すべき最近の天文書籍 一二九

(一四七)

天文臺

- ウインザル天文臺(テバット氏) 四
- ウイルソン天文臺 二八
- ローエル天文臺の新望遠鏡 八二
- 南部カリフオニアに於けるカーネギー氏の研究所 一〇九
- 慶州瞻星臺の記 一二一
- トランプト天文臺及臺長アルヘンホルド氏 一三六

天文と氣象と

- 天文時計 四一
- 時 四一

簡単に恒星時を求める法 六

ナ行の部

日食

- 六月十八日の日食 三四
- 日蝕観測 四四
- 日蝕観測表 四七
- 明治四十四年の皆既日蝕遠征に關し當局者に望む 四九

ハ行の部

はくさ星(彗星を見よ)

ハリー彗星

- ハリー彗星現はる 一四三
- ハリー彗星の昨今 九五

光の吸収

- 恒星界の光の吸収 一九
- 恒星界に於ける紫外光線の吸収 五六
- 光の分散 二一
- 空間に於ける光の分散 一一

ヘール教授の最近研究 一

變光星

- 變光星ヘルクレス座 $\eta$ 星 二一
- 短期變光星の變光原因に就て 三三
- 望遠鏡 三三

- 水銀望遠鏡 三三
- 赤道儀の話 五一
- ローエル天文臺の新望遠鏡 八二
- アルヘンホルト式望遠鏡 一三六

- 北極星の最大離隔 六六、一三四
- 北光(極光を見よ) 六六、一三四

ラ行の部

流星

- 四月流星の観測 四二
- 隕星(隕星を見よ) 一〇七
- 火球を見る 一〇七
- 大流星の経路 一〇七
- 流星の停留點 一一七
- 流星群 一三三、一四六

曆

- 我國の編曆事業に就て 八〇
- 明治四十三年曆に就いて 九一
- 世界各國に行はるる曆法に就て 一〇三
- 隆熙四年日用便覽 一三〇

ワ行の部

惑星

- 金星(金星を見よ) 七〇
- 火星(火星を見よ) 七〇
- 假想惑星ワルカンの搜索 七〇
- 惑星たより 一二、二四、三六、四八、六〇
- 七二、八四、九六、一〇八、一二〇、一三二
- 一四六

掩蔽

- 星の掩蔽 一〇
- 掩蔽観測 二二、三三、四五、七七、七一
- 東京で見ゆる星の掩蔽 二四、三六、四八
- 六〇、七二、八四、九六、一〇八、一二〇
- 一三一、一四五

